

# 小学校算数科において、自ら考え、共に学び、問題解決できる児童の育成

－ 状況カードを活用した学び方の工夫を通して －

特別研修員 算数 小林洋一（小学校教諭）

## 児童の実態

- ・指示待ちの姿勢で授業に取り組んでいる様子が見られる。
- ・文章問題に取り組むことや自分の考えや思いを伝えることに対して抵抗感をもっている様子が見られる。

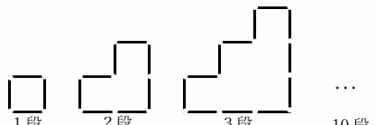
## 教師の願い

- ・一人一人の学び方で問題解決できるようになってほしい。
- ・問題解決できる経験を積み重ね、学ぶことの楽しさを味わってほしい。

## 状況カードを活用した児童による児童のための学びの場の設定

実践事例：第4学年「2つの量の変わり方を調べよう」

**問題** 棒を並べて、階段のような形をつくります。10段のときの棒の数は何本になりますか？



1段 2段 3段 ... 10段

みんなの力だけで、この問題を解決しよう!!

児童に  
できた 分かった ○通りできた  
ちょっと自信が... 一人で考えます!! ヘルプ  
の状況カードを送付

個別追究後

一通りできたぞ。カードを送ろう。



### 工夫① 状況の共有



カードを大型提示装置に一覧表示

表を縦に見ると、何倍になっている？

あ、4倍だ。だから、段の数に4をかけるぞ...

少し考えると、きまりが整理できそうだから、自分でやってみよう。カードを送り直してから友達に聞きに行こう。



ヘルプの人を見付けると、すぐに...



### 工夫② 解決の糸口・疑問の共有

前回の授業の式を少し変えればいいのだから...

解決の糸口を提出できた!!

ヒント  
だんすうを○として考えて、  
ぼうの数を△として考えたら  
分かりやすい!

解決の糸口や疑問を状況カードに入力して提出



ちょっと自信がないけど... このきまりって、合っている？

合っていると思うよ。Aちゃんからのヒントを使うと、もう一つきまりつけないかな？

棒の数を段の数でわると4になります。

B君が異なった見方をしているから、聞きに行ってください。



解決の糸口から始まった協働。その後、カードを変えたり、違う友達のところに行ったりと新たな交流へ

私も表を横に見たらこのきまりを見付けたから、大丈夫だと思う。違う友達の考えも聞こう。

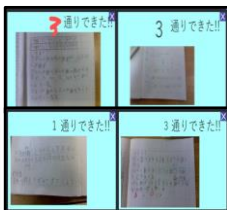


教員は、児童と児童のつなぎ役

昨日、○と△を使って式をつくったよね。同じように考えて、このきまりを式にしたの。

### 工夫③ 解答の共有

写真を撮ってカードに載せるよ。



解答を撮影したり、状況カードに入力したりして提出

私の考えと異なる考えをしている人がいるかな？

この考えって、どういうこと？

昨日の授業で学んだことを使えるとは、さすがだね。きまりが、より分かりやすいね。



まだ交流していない友達の考えを確認中



提出された解答を見合い、新たな交流も生まれた



目指す児童像

自分で考え、共に学び、問題解決できる児童

## 成果

- 児童一人一人が状況カードを活用した交流を繰り返し行うことで、多様な考えを取り入れた問題解決ができるようになった。
- 自分の考えと友達の考えを交流することで、自分の考えや思いを伝えられるようになり、意欲的に授業に取り組める児童が増えた。

## 課題

- 資質・能力の更なる育成に向けて、数学的な表現を用いた交流や考えの比較・検討、関連付けを図る活動を充実させる必要がある。